



北九州市立城南中学校 学校通信

# 笑顔

～やればできる！

夢かなうまで、真っ向勝負！～

自立・勤勉・礼儀

令和7年4月11日 No.1 発行者：校長 岩波 宏明

## 学校教育目標

生徒一人一人の個性や能力の伸長を図り、徳・知・体の調和のとれた心豊かな人間の育成に努める。

# 城南中学校 128名でスタート！

4月8日（火）に行われた着任式、始業式に続き、4月10日（木）には、入学式が行われ、33名の新1年生が城南中学校の仲間になりました。

全校生徒128名の生徒のために、教職員一同、力を合わせて頑張りますので、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 【入学式の式辞より一部】

城南中学校には、校訓「自立・勤勉・礼儀」という言葉が、あります。その言葉の意味を理解し、中学校で学ぶ大切なことを、しっかりと身に付けてくれることを期待しています。

もう一つ、皆さんにぜひ頭に入れておいてほしいことがあります。それはいつでも心に「希望」をもってほしいということです。

皆さんは、ケンタッキーフライドチキンを始めた、カーネル・サンダースという人を知っていると思います。カーネル・サンダースは事業に失敗してほとんど無一文になったとき、フライドチキンの作り方を売るというアイデアを思いつきました。ところが、売り込みに行ったレストランでは全然相手にされず、何軒回っても断られてしまったのです。その数何と、千軒以上です。

普通の人なら百軒も断られたら諦めてしまうでしょう。でも、カーネル・サンダースはなぜ諦めずに千軒以上も回れたのでしょうか。それは、お店で「ノー」と言われるたび、「必ず次は『OK』という言葉が聞けるはずだ」「いつか自分のフライドチキンを分かってくれる人がいる」と思ったからなのです。

つまり、いつでも「希望」をもって、「次はよくなる」と思うことができたから、何度断られても立ち止まることがなかったのです。

明日から始まる中学校生活では、うまくいかないこともあるし、失敗することもあります。落ち込んだり、がっかりしたりすることもあります。しかし、そんな時でも「次はよくなる」「次はうまくいく」という希望をいつでも持ってほしいのです。「希望」に理由はいりません。「次はうまくいく」と思うだけでいいのです。そう自分に言い聞かせて、何度でもチャレンジすることを忘れないでください。

保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。お子様のご入学を心からお慶び申し上げます。本日より大切なお子様を三年間お預かりし、全職員一丸となって教育にあたる覚悟でございます。また、日頃の学校生活や学習活動については、一人一台タブレットの活用や読み書き計算などの基礎的学力や補充学習に力を入れ、三年後の進路実現に向け、学力を身に付けさせるよう努力いたします。

（裏に続く）

しかしながら、中学校の三年間は心身ともに変化が大きく、そして成長する時期です。学校教育はもちろんですが、家庭での教育も大きく影響します。特に、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣が重要です。また、お子様の話をじっくり聞くこと、子どもに話しかけることなど、親子で語りあう時間をもつことが重要です。子どもの自立を促しつつも、変化に気づき、励ましていくことが大切です。そして、学校と家庭・地域が太いパイプで結ばれ、連携の取れた教育の実現こそが、子どもたちの健全な成長を支えることができると信じております。どうぞ本校教育への深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 学年所属職員

個人情報保護のため、掲載を控えさせていただきます。

#### 全体にかかわる職員

個人情報保護のため、掲載を控えさせていただきます。

#### 離任された先生方

個人情報保護のため、掲載を控えさせていただきます。

1年間、よろしくお願いいたします。